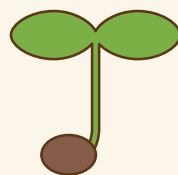


タネ
tane Vol.3



何かが芽生える種になる



第3号は
学生さんも
ボランティア活動が
身近に感じられる
記事をお届けします。

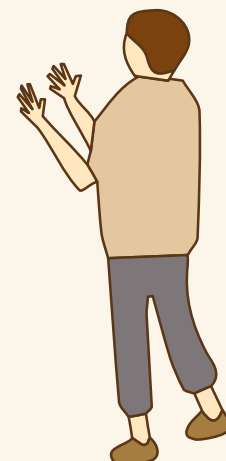
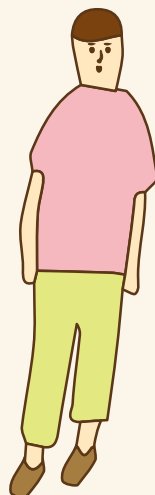


アクティブ大学生 インタビュー 森島湧喜さん

市民活動団体の先輩たちから聞いた
自分が学生時代にしてよかった
& しておけばよかったと思うこと

サロンスタッフが考える
ボランティアの良さ & 窓口紹介

サロン機能の移転について
開催報告・予告



ボランティア活動している 大学生のインタビュー

もりしまゆうき
森島湧喜さん
大阪教育大学2回生
豊中市在住



Q 森島さんが現在取り組まれている活動についてお聞かせください。

A 現在は「もふもふ食卓」という子ども食堂の運営と「いこっど」*の学生コーディネーターをしています。「もふもふ食卓」は服部にある団地の集会室で自治会と連携しながら、月に一度開催しています。コロナ禍で減ってしまった地域の交流の場になることをめざしています。「いこっど」の学生コーディネーターとしては、子どもの居場所にボランティアとして参加したい学生と活動場所のマッチングを行っています。貴重な体験になったという感想を学生から伝えてもらったときや、また学生に来てほしいという声を居場所運営者からいただいたときは嬉しい気持ちになります。また、他の学校に通う高校生・大学生と、学生マルシェという地域版学園祭のようなイベントも開催しています。



Q 地域活動やボランティア活動を始めたきっかけについて教えてください。

A 高校生の時に友だちと新しいことが始めたくて、ボランティアサークルを作ったことがきっかけです。地域イベントや子ども食堂のスタッフ、点字ブロックの調査などを行いました。また体育祭で使用した竹藪材を有効活用するために、キャンドルナイトも企画し、地元のイルミネーションイベントとコラボする形で竹灯籠を道に並べて灯しました。この活動を通して感じた楽しさが今に繋がっていると思います。

Q ボランティアを始めたい方へメッセージをお願いします。

A ボランティアや地域活動は楽しく、様々な出会いがあります。地域の方のサポートをいただきながら、やりたい事を実現する機会も多いです。僕自身の活動も楽しんで取り組んできているため、ぜひ他の学生の方にも活動を広めていきたいと思っています。楽しいので一緒に若い力で豊中を盛り上げましょう。活動やきっかけは身近なところに行くので、何か新しいことを始めてみたい人は、まず一歩踏み出してみると良いと思います。

*「いこっど」は、豊中市子どもの居場所ネットワーク事業のポータルサイトです。2020年度より子ども食堂や学習支援などを含んだ子どもの居場所の拡充に取り組んでいます。

サロンを利用している市民活動団体の先輩たちから聞いた 自分が学生時代にしてよかった&しておけばよかったと思うこと

学生時代にしてよかったと思うこと

部活動・サークル活動

(自身はサッカー部) …何も考えずに1つのことにがむしゃらに一生懸命打ち込めたのは今思えば学生のころだけだったと感じています。友達付き合いなどもありました。高校時代の大半は部活をしていました。分野などは違っても、何かに一生懸命になったという経験は社会に出てからも自分の支えや自信につながっていると思っています。

ESSクラブに所属していました。英語のみならず、情報交換、交友関係の充実の面で良かったと思います。

留学

米国留学、短期間でしたが、よい経験でした。

勉強

好きなことの勉強

● 保育士の資格がとれたこと
(師や土のつく職業が良いと親に言われました)

アルバイト

アルバイトで楽器を買い、女の子だけのロックバンドを組んだり、自由な日々を送っていた。親元を離れてよかったと思う。

自分で好きなものが買える。

楽しい思い出となっています。

旅行

学生時代しておけばよかったと思うこと

勉強

自身の将来の選択肢を増やすためにも学生時代に勉強に力を入れるべきだったと思っています。自分の将来の目標が決まっていなくて、方向性も定まっていなくても、選ぶことのできる道を増やすことはできた、今思えばそう感じます。

交流

● 他学部との学生交流

アクション

好きなことへの追求

● 当時(70年代後半)世界の動きにもっと関心をもって視野を広げ、行動すべきだった。

料理

アルバイトや友人との旅行など楽しい思い出は数多くあり、先輩や友人、周りの環境にもめくまれ充実した学生時代でしたが、勉強には、もっと真剣に取り組むべきでした。それと、下宿先のおばさんの料理がとてもおいしかったので、作り方を教えてもらえばよかったとずっと後悔しています。

● お料理・マナーなど

サロンスタッフが考える ボランティア活動の良さ

- 松野 人とのつながりが増える。気の合う友達ができるきっかけになるかも。
- 加藤 色んな人と出会い、社会にふれられる。
- 垣花 学校や、社会人になっても得られない知識や経験が手に入る。
- 嵯峨 ボランティアは心のビタミン。
- 上村 楽しみながら元気をもらえて新たな学びが得られる場。
- 小池 知らない世界を知ることができます。
- 富安 自分のできること、興味のあること、やりたいことを知る手段の一つになります。アルバイトより敷居が低く思えます。
- 梁井 自分の関心のあること、やりたいと思っていることをやれる。同じ思いを持つ仲間にも出会えて、世界が広がるチャンス。



令和4年度サロンスタッフ

ボランティアがしたくなったら ココへアクセス!

ボランティア相談窓口

いこっど学生
ボランティア窓口



HP



LINE 公式アカウント

市民活動
情報サロン



HP



社会福祉協議会
ボランティアセンター
ぶらっと



HP

あなたが大学生なら…
大学のボランティアセンター・
キャリアセンター

Activo、
V-info
等のネットのサイト

topics

豊中市市民活動情報サロンは 令和5年(2023年)2月に(仮称)南部コラボセンター (庄内幸町)に機能を拡充し移転します。

建物完成イメージ



(仮称) 南部コラボセンター

(仮称) 庄内さくら学園

豊中市市民活動情報サロン(本町)は、機能を拡充し、(仮称)市民活動支援センターとして、令和5年(2023年)2月に開館する(仮称)南部コラボセンター(庄内幸町)へ移転します。誰もが利用しやすい施設、地域コミュニティの活性化につながる施設をめざし、市民公益活動を推進するための情報発信や交流の機会の提供、相談対応等に加え、市民や団体と行政、市民や団体相互のつながりの促進や、地域自治組織や自治会など地域団体と市民公益活動団体との交流も進めていく予定です。(仮称)市民活動支援センター開設に向けた詳細は市ホームページ等で随時お知らせします。

【問合せ】豊中市市民協働部コミュニティ政策課
電話：06-6858-2041 ファクス：06-6846-6003
メール：npo@city.toyonaka.osaka.jp

実施予告

8/25 19:00-20:30 ちゃぶだい集会 vol.40
まちづくり×ダンスの新しい可能性

(一社) ダンストーク代表の千代その子さんをゲストにお招きし、兵庫県の豊岡市、城崎温泉を拠点に展開しているまちづくり×子どもからお年寄りまで踊れるコミュニティダンスの取り組みについてお話いただきます。コミュニティダンスも体験できるかも!?!?ご興味ある方は、お気軽にご参加ください♪オンラインで開催。8/5より申込開始。

9/17 19:00-20:30 ちゃぶだい集会 vol.41
みんなのお仕事トーク!

働き方が多様化し、新しい仕事が生まれていく現代ですが、他業種の人たちの働き方を知る機会意外と少ないのではないのでしょうか。9月のちゃぶだい集会では参加者全員が話し手となり、仕事や働き方について紹介、話し合います。普段関わりの少ない人たちと出会い、その働き方を知ることはきっと学びにつながるはず。サロンでの開催を予定しています。ぜひご参加ください!

実施報告

これまでに開催した市民活動情報サロン主催事業の一部をご紹介します。

4/15 開催 ちゃぶだい集会 vol.36 ファッションから考える SDGs

オトナ服 ClothCross の藤池里美さんをゲストに招いて、日々身に着ける衣服から SDGs を考えてみました。生産から廃棄までの環境負荷について情報共有した後に、ファッションが自分自身の気持ちに与える影響(ポジティブ、ネガティブ)やジェンダーによるファッションの固定化、偏見、性搾取といった課題まで話題提供していただきました。参加者からは、普段何気なく身に着けている服が、自身の生き方や暮らし方にも影響していることを知る機会になったという感想が寄せられました。

5/18 開催 ちゃぶだい集会 vol.37 屋台からはじまるまちづくり

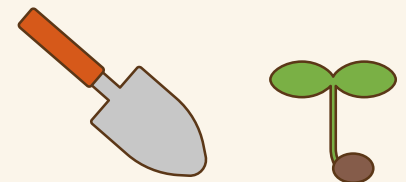
カモメ・ラボ代表の今村謙人さんをゲストに招いて、屋台をつかったユニークな取り組みをたくさん紹介していただきました。海外での焼き鳥チャレンジの様子や子どもも参加する緑日的な駅弁屋台、電車にも乗れる屋台など。まちづくりを特別なものと考えずに、身近で誰でも参加できるコミュニケーションツールとして捉えることで、無限に広がる可能性を感じる事ができました。関東からの参加者もあり、各地の既存イベントとのコラボなど意見交換も大いに盛り上がりました。

市民活動情報サロンとは?

市民ボランティアや、市民公益活動団体、自治会等の地域活動団体、また、これから活動をはじめようとする人やグループを応援する施設です。NPO 法人とよなか ESD ネットワーク (TEN) が豊中市市民協働部コミュニティ政策課と協働しながら運営しています。

サロンでできること

- 情報収集・・・市民活動に関するチラシやパンフレット、書籍があります。
- 相談・・・これから活動したいという相談や、活動する中での困りごとなどを相談していただけます。
- 交流スペースの利用・・・打ち合わせやちょっとした作業などに使えます。
- 学ぶ・・・ちゃぶだい集会などで日々の生活の中で気になることなどについて話し合い学びます。



サロンの SNS をぜひ
チェックしてみてください♪

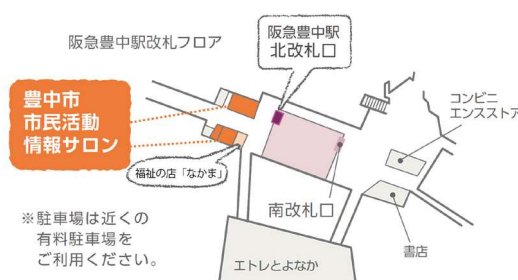


豊中市市民活動情報サロン

〒560-0021 豊中市本町1丁目1番1号
(阪急宝塚線・豊中駅北改札口出ですぐ)
TEL: 06-6152-2212 FAX: 06-6152-2213
MAIL: toyonakasalon@jcom.zaq.ne.jp

【開館時間】午前10時から午後7時まで
(水曜・金曜は午後9時まで)

【休館日】日曜・月曜・祝日・
年末年始(12月29日~1月3日)



※駐車場は近くの
有料駐車場を
ご利用ください。

tane (タネ)
豊中市市民活動情報サロン
ニュースレター Vol.3

発行: 豊中市市民活動情報サロン
編集: 豊中市市民活動情報サロン
(運営受託団体: 特定非営利活動法人とよなか ESD ネットワーク)
デザイン: 大西未生
発行日: 2022年8月
発行部数: 2,500部

